

JOYO BANK NEWS LETTER

2023 年 12 月 4 日

第 3 回地方創生 SDGs 金融表彰の受賞について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、内閣府主催の「地方創生 SDGs 金融表彰」を受賞しましたので、下記のとおりお知らせします。

本表彰制度は、地方公共団体と地域金融機関等との連携による地方創生の取り組みを加速させることを目的として、「地方創生 SDGs 金融を通じた自律的好循環の形成」に資する支援取組を、内閣府が選定・表彰するものです。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、地域とともにあゆむ価値創造グループを目指し、2022 年 4 月よりスタートした第 3 次グループ中期経営計画において、基本戦略の一つに「地域を支えるビジネスモデルの追求」を掲げ、「事業領域拡大への挑戦」に取り組んでおります。今後ともお客さまの非金融分野も含む多様なニーズに対応することで、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 受賞プロジェクトについて

連 携 支 援 プ ロ ジ ェ ク ト	J-クレジット購入選択権付私募債 ^{※1} による地域事業者の脱炭素支援と森林への資金還流の創出
受 賞 団 体	茨城県石岡市、常陽銀行
J-クレジット 購 入 選 択 権 付 私 募 債 に つ い て	・J-クレジット購入選択権付私募債（以下、「私募債」）を発行した地域事業者は、当行の子会社である常陽グリーンエナジー株式会社が保有するJ-クレジット（森林吸収由来）を10トン分（10t-CO2^{※2}）購入する権利を取得します。J-クレジットを活用することで自社のCO2排出量をオフセットすることが可能になります。 ・当行が私募債を引き受けることで地域事業者は資金を調達します。
取 組 概 要	・私募債発行企業は、健全な森林の保全を目的として、当行と連名で「つくばね森林組合」へ資金を寄贈します。 ・「つくばね森林組合」は、寄贈資金を持続的な森林管理や新たなクレジットの創出に活用します。 ・石岡市は、当行やつくばね森林組合等のステークホルダーとスキーム構築に向け協働しました。

※1 詳細は、2022 年 9 月 28 日付ニュースリリース「J-クレジット購入選択権付私募債の取り扱い開始について」をご参照ください。

※2 10t-CO2 とは、従業員数 30～50 名程度、延床面積 300～600 m²、90～180 坪の事務所の年間排出量（主に電力消費）に相当。

2. 表彰式

2023 年 11 月 30 日（木）に、第 3 回地方創生 SDGs 金融表所の表彰式が内閣府にて開催されました。本プロジェクトの受賞を受け、茨城県石岡市と当行が表彰式に参加し、森林吸収系 J-クレジットによる取り組みを発表しました。

以 上



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

(別紙)

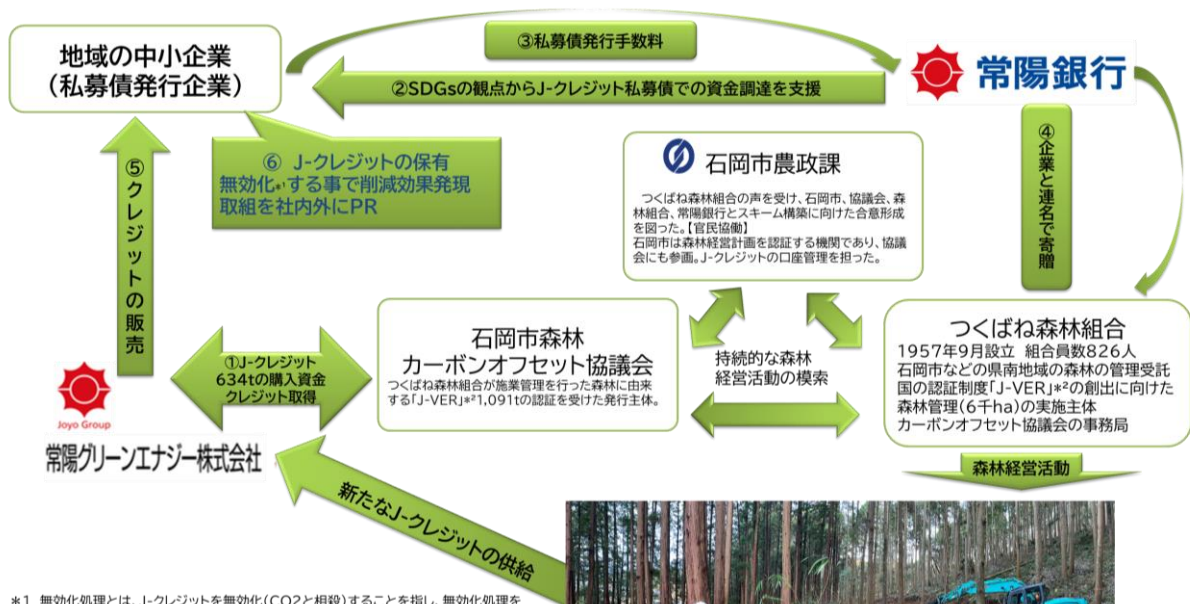
1. 表彰式の模様



(左から) 小松崎常務、自見内閣府特命担当大臣、石岡市谷島市長

2. 本取り組みを通じた自律的好循環形成の全体像

➤ 私募債発行企業と常陽銀行は本スキームを通じ、J-クレジット販売代金と私募債発行手数料の一部を森林組合に寄贈することで持続的な森林保全活動に貢献。また、新たなクレジットの創出に向けた取組に繋げるなど、健全な森林経営を後押し。



*1 無効化処理とは、J-クレジットを無効化(CO2と相殺)することを指し、無効化処理をしない限り排出したCO2との相殺はできない。(キオフセット)

*2 「J-VER」制度とは、国内排出削減・吸収プロジェクトにより実現された温室効果ガス排出削減・吸収量をオフセット・クレジットとして認証する制度で、2008年11月に環境省が開始し、2013年をもって「J-クレジット」(国が運営する制度)へ移行されたもの。

画像提供：つくばね森林組合